

平成 28 年 6 月 28 日

各 位

ヤマト住建株式会社

平成 28 年熊本地震災害義援金の送金について

この度の熊本地震により被害を受けられました皆様に心からお見舞い申し上げます。

平成 28 年 4 月 21 日～5 月 31 日にかけて、本社・各支店に設置しておりました募金箱に皆様からお寄せいただきました義援金の総額は 95,739 円となりました。

皆様よりお寄せいただきました義援金に、ヤマト住建全社員より 228,038 円、ヤマト住建株式会社より 1,000,000 円を合わせまして合計 1,323,777 円を 6 月 16 日に災害義援金として熊本県益城町災害対策本部へ送金致しましたので下記のとおりご報告いたします。

弊社の想いにご賛同いただきました皆様の暖かいご支援に、心よりお礼申し上げます。

記

1. 募 金 総 額 : 1,323,777 円
2. 寄 付 先 : 熊本県益城町災害対策本部
3. 送 金 日 : 平成 28 年 6 月 16 日

この他に、企業活動として実施しておりますハピネスカードプロジェクトによる寄付金に関しましても、日本赤十字社に送金予定です。

以 上

受 領 書

金 1, 323, 777 円

災害義援金として

平成28年 6月16日

ヤマト住建株式会社 様

益城町災害対策本部

益城町長 西村博 則



義援金ありがとうございます
被災した町民のために大切に使用させていただきます

ボランティア活動参加のご報告

今回の熊本地震により甚大な被害が発生した熊本県益城町にて6月14日～6月16日、ヤマト住建従業員5名で実地調査及びボランティア活動に参加させて頂きました。活動内容をご報告いたします。

活動内容(ボランティア参加社員による活動後記)

6月15日(水)	<p>活動内容：個人宅にて瓦礫の撤去・運搬作業</p> <p>熊本県の中でも特に被害が大きかった益城町の高齢女性宅に訪問し、瓦礫の袋詰めと搬出作業を手作業で行いました。</p> <p>最高気温 30 度の真夏日でしたが、大きな瓦礫の山に全力で挑み、無事に作業を完了することができました。被害の大きさを肌で感じさせられると同時に、地震という自然の脅威を思い知らされました。</p> <p>また、町中には倒壊家屋の瓦礫がそのままの状態で見られる場所も多く見られ、撤去や処理に必要な人手が足りない様子がうかがえました。ボランティア参加者は不足しており、一人でも多くのボランティアの力が求められていることを感じました。</p> <div data-bbox="464 1025 833 1368"></div> <div data-bbox="868 1032 1323 1368"></div>
6月16日(木)	<p>活動内容：個人宅にて塀の解体・撤去・室内清掃</p> <p>個人宅に訪問し、半壊した塀の解体・瓦礫の搬出作業を行いました。ご高齢で一人暮らしの家主の方に代わり、崩れる危険性のあった塀をすべて手作業で解体・撤去することに成功しました。</p> <p>サッシの歪みによって窓は動かせなくなり、食器棚のガラス戸は割れ、室内の被害状況は想像以上のものでした。ご高齢者の方は特にそうだと思いますが、生活することさえも危険な状態の中、片付けをしようにも、何をどう進めていけば良いのか判断することが難しいように思います。</p> <p>ご本人だけではどうすることも出来ない自体に遭遇することも多く、どのような形であったとしても復興に向けて、周囲の継続的な支援の手が必要であると感じました。</p>

甚大なる被災状況を知り、ヤマト住建では微力ながら今後も復興に向けて継続的なご支援を続けてまいりたいと思います。

一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。